

全科協ニュース

Japanese Council of Science Museums Newsletter

全国科学博物館協議会 東京都台東区上野公園 国立科学博物館 ☎110 Tel.03-3822-0111(大代)Fax.03-3824-3298 平成5年7月1日発行(通巻第131号)

全科協ニュースの編集について

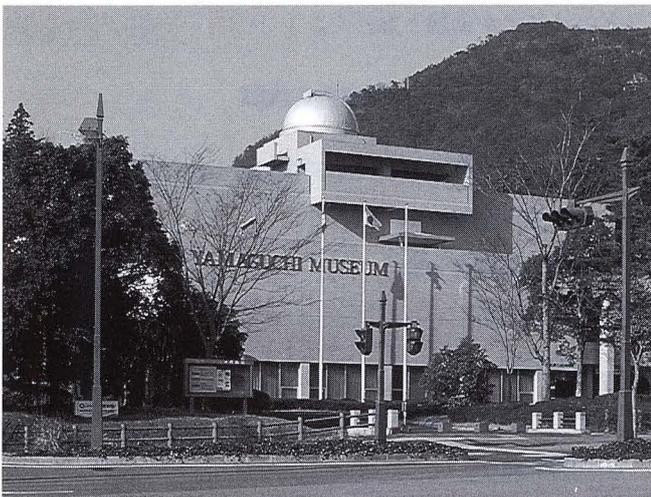
全科協ニュースの編集を地方館へ順次回り持ちで編集をするとの件が、本年1月の全科協理事会および4月の総会で決まり、国立科学博物館より山口博物館で7月号の編集を引き受けてもらいたいとの要請があった。

地方館で、しかも初回ということで、いろいろ問題があったが、初年度は試行的な意味を含めて、(1) 特定館に固定しない。(2) 編集担当館の実務は、科博の事務局より①「全科協情報」②新規加盟館等を紹介する「博物館紹介」③「北から南から」の原稿の提供を受け、その編集校正を行う。(3) 担当館で独自の記事を組む「特集」のみ執筆・編集すること。の三点で合意し、7月号の編集を山口県立山口博物館で引き受けることとなった。

特集 一企画展開催のための情報交換一

はじめに

大正6年に創立された山口博物館は、開館以来三百回以上、近年は毎年大小3～5回の展覧会を企画し観客を動員してきたが、内面いろいろな課題を抱えながら館を運営しているのが現状である。



山口県立山口博物館

当館は、理工、天文、地質、動物、植物、歴史、考古の7部門をもつ総合博物館で、各分野に学芸員が各1名ずつ配置されている。そのため、資料収集・管理、調査研究、展示、教育普及の四分野を一人でまかなうわけで、大変な業務となっている。

なかでも、年3回実施する企画展(特別料金を設定する展覧会)は、学芸員が最も苦勞するもので、特に、理工、

自然の企画展には、準備に大変な時間が必要である。

地方公立館では、県土に基盤を置く資料収集が中心になるが、理工関係は必ずしも地域の特色は出せない。それだけに、担当学芸員の企画展実施には多くの困難がある。

まず、青少年に興味を持たせ、かつ科学思想の普及に役立ち、また一般の人々にも理解して頂ける内容をどう組み立てるかという問題である。しかも、限定された予算では展示資料の購入にも限界があり、資料の借用も年々高額となり、質が高く、多くの人々が興味を持てる企画展の実施が年々困難となってきたのが実情である。

博物館本来の業務からいえば、企画展のみに全力を投入するのは問題があるが、現在はイベント万能時代であり、文化施設の利用度(観客動員数)がすべての評価の基準となっているのも事実である。多額の県費を投入する以上、できるだけ多くの人々に見てもらおう努力をすることは当然博物館サイドの仕事であると思える。

以上のような理由により、当館がもっとも今日的な課題にしている企画展(特別展)を取り上げることにした。

どのようにして資料を収集し、展覧会を組み立ててゆかかというわけで、同様な悩みを持たれる館が多いと思われるので、少しでも参考になれば幸いである。ただ、以下の記事は、理工系の分野を中心としてまとめられていることをあらかじめ、お断りしておく。

なお、参考資料としての年度別図表類は、昭和57年度以降に限定して表記した。

入館者数推移（昭和57年度以降）

年度	昭和57	58	59	60	61	62	63	平成元	2	3	4
常設展	37,971	20,165	27,933	23,367	20,206	27,646	28,326	23,239	36,306	46,090	27,360
企画展	48,790	32,999	20,116	22,740	27,090	48,355	44,594	27,822	42,251	83,518	44,429
合計	98,905	53,164	48,049	46,107	47,296	76,001	72,920	51,061	78,557	129,608	71,789

※1 入館者数に変動の多いのは、企画展動員数による。また、企画展で観客が多ければ、常設展も多くなり相乗効果がある。

※2 平成2～3年度は、理工展示室の増設、改修により常設展入館者が増大したものである。

共同企画展開催に向けての試み

交通科学博物館の木村宏氏の発案、山口博物館から理工系博物館・科学館への呼びかけにより、1988年（昭和63年）10月28日に国立科学博物館を会場にして共同企画展開催に関する情報交換会が開催された。

詳細については、市立名古屋科学館の三輪氏の記事「全科協ニュース Vol.18, No6 (Nov.1988)」を参照されたい。

参加者（敬称略）は、いずれも企画展・特別展を直接企画担当されておられる第一線の方々である。国立科学博物館から普及課の奥野、森、若宮、新潟県立自然科学館の日根、小山、市立名古屋科学館の三輪、神戸市立青少年科学館の宮内、交通博物館の肥沼、交通科学博物館の内田、電気通信科学館の立田、横浜こども科学館の木村、福島児童文化センターの草苺、山口県立山口博物館の佐伯の諸氏が出席された。

この席では企画展開催についての各館の実状が詳細に紹介されたが、各館それぞれに事情特質があり、残念ながら共同企画展を計画する話しに至ることはできなかった。

すなわち、館により

- (1) 企画展は年1回のところから年3～4回も開催される館がある。
- (2) 予算規模が一回あたり100万円以下から1千万円以上までの広範囲にわたっている。
- (3) 特に公立館では、年度をまたがる開催は難しい。
- (4) また、仮に共同企画展を組もうとする場合、①資料の巡回終了までに数年以上かかることを前提に考えると、借用資料はとうてい無理であり、すべて新しく製作する必要がある。②制作経費はおそらく数千万円以上と思われるので、その経費の捻出はどうするか。③巡回が終わり、

共同企画展が終了した場合、共同で製作した資料の帰属はどうするか。

- (5) 実行委員会方式にしても、巡回が2～3年にまたがるので①展覧会を実施する前に実行委員会に経費が支出できるか。②支出できない場合がほとんどと思われ、資料製作費の立て替えを、肩代わりしてくれるところがあるか。などいろいろ難しい問題が山積しており、それらをクリアしないと実現が難しい。

以上のような理由により、共同企画はすぐには無理であるので、次なる手段として情報交換をできるだけ密にしようということが結論となった。

情報交換の実際

情報交換の資料として、山口博物館は次の資料を用意し、当日出席館に配布した。

- 1 過去の展覧会一覧
 - (1) タイトル名
 - (2) 開催期間
 - (3) 主催・後援・協賛等
 - (4) 入館者数
 - (5) 図録、リーフレット等
- 2 展覧会開催要項（理工系のみ、昭和57年度以降）
 - (1) タイトル
 - (2) 主旨
 - (3) 主催・後援・協賛等
 - (4) 開催期間
 - (5) 観覧料
 - (6) 展示構成

3 展覧会資料リスト

- (1)資料名
- (2)資料出典先、担当者、公文宛先等
- (3)資料寸法、重量等
- (4)輸送、展示における資料保険額、輸送方法等
- (5)その他 資料により細部な項目

4 予算書、決算書（支出明細）

- (1)賃 金：監視員、展示説明員賃金等
- (2)旅 費：借用交渉、返却、展示指導者旅費等
- (3)報償費：借用謝礼等
- (4)需用費：展示造作、ポスター等
- (5)食料費：
- (6)委託費：写真撮影委託等
- (7)役務費：資料輸送、搬入搬出展示役務、電話等

5 図録、リーフレット、資料リスト

6 入館状況日計表

- (1)大人、高大生、小中生別（個人、団体）
- (2)有料・無料別内訳
- (3)歳入額

7 広報状況

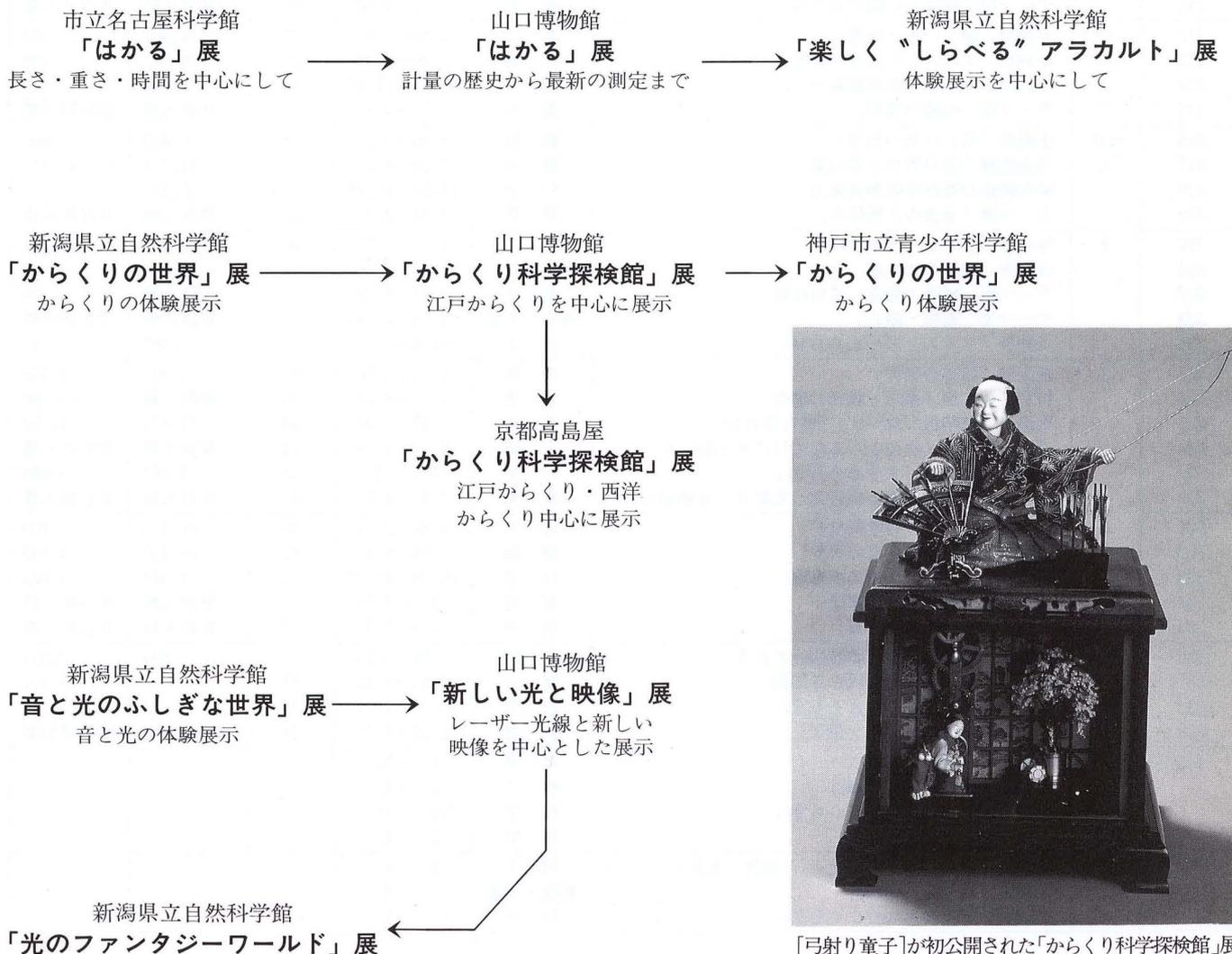
- (1)新聞等の切り抜きコピー
- (2)ラジオ、テレビ等の放映一覧

8 展示資料写真、展示図面

このような情報交換は、現在も理工系の数館と常時行っている。また、希望の館には、当館から情報を送っている。できるだけ多くの館といつでも情報交換する用意があるので、申し出てもらいたい。

理工系以外の分野でも、情報交換したい意向があると聞いているので、多くの分野に広がっていくことを希望している。

情報交換により企画した展覧会の例



「弓射り童子」が初公開された「からくり科学探検館」展

展覧会一覧 (昭和57年度～平成7年度)

通算No.	年度	展覧会名(備考)	分野	開催期間	延日数	入館者数	予算(千円)
284	57	テーマ展「郷土玩具」	民俗	3.20～4.11	19	常設入館	常設展示費
285		テーマ展「石の花」	地学	4.24～5.16	19	常設入館	常設展示費
286		企画展「シダとコケの世界」	植物	5.27～6.27	28	7,871	4,280
287		特別展「鉄道」	理工	7.23～9.5	39	20,724	13,976
288		世界最古の黄金文明展(貸しギャラ)	考古	9.21～10.17	22	貸しギャラ	
289		第36回山口県科学振興展覧会	科学	10.29～11.14	14	12,144	
290	テーマ展「近世防長の文化人(Ⅲ)長門の文化人」	歴史	1.25～2.27	28	常設入館	常設展示費	
291	58	テーマ展「中世の農民の暮らし」	歴史	4.20～5.29	33	常設入館	常設展示費
292		特別展「未来をひらく科学技術」	理工	8.12～9.4	24	19,939	15,106
293		企画展「日本の美」(国立博物館巡回展)	歴史	10.1～11.3	29	7,016	3,840
294		第37回山口県科学振興展覧会	科学	11.22～12.11	18	6,044	
295		テーマ展「山口県指定の文化財(Ⅰ)絵画」	歴史	2.18～4.8	43	常設入館	常設展示費
296	59	山口県100年の先覚者	歴史	6.12～7.1	18	8,164	8,362
297		特別展「地図の歴史」	歴史	7.21～9.2	38	4,532	13,193
298		第38回山口県科学振興展覧会	科学	11.17～12.2	13	7,420	
299		テーマ展「山口県指定の文化財(Ⅱ)考古資料」	考古	2.19～4.7	41	常設入館	常設展示費
300		60	企画展「鉄砲」	歴史・理工	4.27～5.26	28	8,225
301	特別展「サンゴ礁」		地学・生物	7.10～8.18	35	7,011	15,456
302	第39回山口県科学振興展覧会		科学	11.16～12.1	13	7,504	
303	山口県指定の文化財Ⅲ-書籍・典籍・古文書-		歴史	2.22～4.6	37	常設入館	常設展示費
304	61	企画展「毛利家伝来の能面と能衣装」	歴史	4.24～5.25	30	9,632	5,505
305		企画展「はかる」	理工	7.26～8.31	32	9,131	16,004
306		第40回山口県科学振興展覧会	科学	11.15～11.30	13	8,327	
307	62	企画展「不思議博物館」	理工	4.28～5.24	23	30,730	7,971
308		企画展「海の日本史 船にまつわる日本のあゆみ」	歴史	7.31～8.30	27	8,770	12,081
309		第41回山口県科学振興展覧会	科学	11.7～11.23	14	8,855	
300		防長医家遺墨展	歴史	11.28～12.9	10	3,216	6,976
311		テーマ展「維新その陰の人たち」	歴史	2.27～4.10	37	常設入館	常設展示費
312	63	企画展「新しい光と映像」	理工	4.28～5.22	21	16,407	13,504
313		企画展「すばらしい昆虫の世界」	動物	7.29～8.28	28	20,571	8,109
314		第42回山口県科学振興展覧会	科学	11.12～11.27	13	7,621	
315		テーマ展「伝統の漆器」	歴史	2.25～4.9	37	常設入館	常設展示費
316	平成 元	企画展「美しい鳥の世界」	動物	4.28～5.21	21	8,602	11,008
317		元企画展「高杉晋作と奇兵隊」	歴史	7.28～8.27	27	12,739	10,712
318		第43回山口県科学振興展覧会	科学	11.10～11.26	15	6,481	
319		テーマ展「東光寺と黄檗宗」	歴史	2.24～4.8	37	常設入館	常設展示費
310	2	企画展「おもしろ科学探検館」	理工	4.27～5.27	26	28,272	13,574
321		企画展「激動の長州藩」	歴史	7.27～8.26	28	8,672	10,249
322		テーマ展 維新の先覚「吉田松陰」	歴史	7.27～8.26	27	常設入館	3,750
323		テーマ展「鉱物・隕石」	地学・天文	9.18～10.14	22	常設入館	常設展示費
324		企画展「サイエンスやまぐち'90」	科学	11.9～12.2	21	5,307	5,341
325	3	企画展「絵馬の世界」	歴史	4.25～5.26	27	5,085	14,960
326		特別テーマ展「幕末・維新の群像」	歴史	7.16～8.18	30	常設入館	15,390
327		企画展「発明王エジソン」(実行委員会)	理工史	7.23～8.25	30	74,671	14,733
328		テーマ展「カメラでとらえた山口の生き物たち」	生物	9.13～9.29	14	常設入館	常設展示費
329		企画展「サイエンスやまぐち'91」	科学	11.8～12.1	21	3,762	5,600
330		テーマ展「山口県地方史研究の先駆者 近藤清石」	歴史	2.25～4.5	35	常設入館	常設展示費
331	4	企画展「からくり科学探検館」	理工	4.28～5.31	30	27,428	14,700
332		企画展「潮騒の詩・貝の世界」	動物	7.24～8.23	27	10,410	13,100
333		企画展「サイエンスやまぐち'92」	科学	10.30～11.23	22	6,591	5,665
334		テーマ展「新収資料披露展」	歴史	2.2～2.28	23	常設入館	常設展示費
335		テーマ展「山口県の岩石」	地学	3.9～4.4	23	常設入館	常設展示費
336	5	企画展「自然の図鑑・動植物画の世界」	生物	4.28～5.23	22	5,565	12,064
337		企画展「岩倉使節団 内なる開国」	歴史	7.23～8.22	27		10,107
338		企画展「サイエンスやまぐち'93」	科学	10.29～11.23	21		5,725
339		テーマ展「古代の銅山・長登」	歴史	2.22～3.20	24	常設入館	常設展示費
予定	6	企画展「恐竜」(仮称)	地学	4.～5.			
		企画展「ロボット」(仮称)	理工	7.～8.			
		企画展「サイエンスやまぐち'94」	科学	10.～11.			
		テーマ展「うつわ」	歴史	2.～4.			
予定	7	企画展「ふしぎ体験科学館」(巡回展/仮称)	理工	4.～5.			
		企画展「くじら」(仮称)	動物・歴史	7.～8.			
		企画展「サイエンスやまぐち'95」	科学	10.～11.			

展示面積(㎡)	展 示 内 容	資料数	発行印刷物等
142	厨川肇氏のコレクション(館藏品)を中心に、郷土色豊かな伝統玩具を紹介	232	出品目録
210	美しい岩石や鉱物を一堂に集め展示・紹介	350	資料目録
611	山口県内に生育するシダとコケを中心に、発生、分類、生態等を紹介	280	記念出版「山口県のシダとコケ」
991	鉄道の歴史、山陽線、県内の鉄道、新幹線、鉄道技術、未来鉄道など	205	記念出版「鉄道いまむかし」
611			
611	県内の小・中学生の優れた科学的研究や創意工夫作品を展示・紹介	408	集録「山口県科学振興展覧会」
188	江戸時代に長門地区において活躍した26人の文化人を紹介	26	資料目録
188	防府市下右田遺跡の出土品を中心に、中世の庶民生活を資料で紹介	51	出品目録
991	新工業材料、最新のエレクトロニクス情報、コンピューター、ロボット、新エネルギーなど	167	解説図録「新しい光と映像」
991	考古資料、絵画、書跡、彫刻、金工、刀剣、漆工、陶磁、染織など	129	解説図録「日本の美」
611	県内の小・中学生の優れた科学的研究や創意工夫作品を展示・紹介	376	集録「山口県科学振興展覧会」
188	武将肖像画4点、禅僧の肖像画5点、仏画7点、神社縁起など4点	20	出品目録
991	明治・大正・昭和にいたる山口県政の歩みを人物を中心に紹介	202	解説書「山口県百年の先覚者」
991	古代から現代に至るまでの日本を代表する地図と防長古地図を紹介	238	記念出版「防長の古地図」
611	県内の小・中学生の優れた科学的研究や創意工夫作品を展示・紹介	387	集録「山口県科学振興展覧会」
188	県内の遺跡から出土した代表的な考古資料を展示	59	出品目録
611	吉川新一氏のコレクションを中心に、美術工芸品としての古鉄砲を展示	170	記念出版物「日本の古銃砲」
1,091	化石サンゴ礁から現在のサンゴ礁までを県土の生い立ちとからめて紹介	750	記念出版物「山口県の古生物」
611	県内の小・中学生の優れた科学的研究や創意工夫作品を展示・紹介	376	集録「山口県科学振興展覧会」
188	県指定の有形文化財のうち書籍14点、典籍11点、古文書14点を紹介	39	解説出品目録
611	毛利家に伝来した能面と能装束を中心に展示し伝統的な工芸美を紹介	82	解説図録「能面と装束」
1,165	計量の歴史、基準、最新の計量、特殊な測定、実演、ビデオコーナーなど	306	解説図録「はかる」
611	県内の小・中学生の優れた科学的研究や創意工夫作品を展示・紹介	407	集録「山口県科学振興展覧会」
316	視覚の遊び、実験・体験・トリックコーナー、ミラーの遊び、遊びのエレクトロニクスなど	48	解説リーフレット
611	日本の船の変遷をたどり、各時代の船と海に関する歴史事象を紹介	171	解説書「海の日本史」(B5版80頁)
611	県内の小・中学生の優れた科学的研究や創意工夫作品を展示・紹介	379	集録「山口県科学振興展覧会」
142	県医師会創立百周年を記念し防長の歴史上で活躍した医家先賢を紹介	101	出品目録
188	維新偉業を目指しながら業半ばにして倒れた32名の業績を展示・紹介	41	出品目録
611	レーザー光線によるファンタスティックアート、光と映像のメルヘン、ハイテクな映像など	49	解説リーフレット
636	昆虫標本を中心に化石から現世の昆虫形態や生態を詳しく紹介	3,0542	記念出版「山口県の昆虫」
611	県内の小・中学生の優れた科学的研究や創意工夫作品を展示・紹介	389	集録「山口県科学振興展覧会」
180	館蔵の大内塗をはじめとする漆器の数々を展示・紹介	81	解説目録
636	鳥の発生、生態、人間との関わりを標本、模型、写真、映像等で紹介	575	記念出版「山口県の野鳥ガイド」
636	高杉晋作生誕150周年を記念して、彼の生涯とその人間像を紹介	208	解説図録「高杉晋作と奇兵隊」
611	県内の小・中学生の優れた科学的研究や創意工夫作品を展示・紹介	200	集録「山口県科学振興展覧会」
200	毛利吉就によって建立された寺院の黄檗宗東光寺資料を展観・紹介	67	出品目録
558	視覚・錯覚のトリック、体験コーナー、実験実演コーナー、気動車運転シミュレーターなど	73	解説リーフレット
558	天保大一揆から明治維新に至る激動期の長州藩を資料に基づいて紹介	180	展示解説図録「激動の長州藩」
200	吉田松陰生誕160周年を記念して、彼の事績や業績を展示・紹介	100	記念出版解説書(B5版200頁)
200	山口県内から産出した代表的な鉱物(134点)や隕石(14点)を展示	148	出品目録
533	レオナルド・ダ・ビンチ展、全国発明くふう優秀作品展、山口県科学作品など	257	展示品目録
558	山口県内の絵馬を一堂に会して紹介、絵馬の起源と変遷をさぐる	170	解説図録「絵馬の世界」
430	幕末の長州藩で活躍した諸先達の歴史的活動の足跡を展示・紹介	218	解説書(A4版120頁)
558	電信、電話、蓄音機、白熱電球、発電、電気自動車、映画、実演など	300	解説図録
200	山口生物学会員の撮影した動・植物の生態写真、顕微鏡写真など	100	解説書(B5版40頁)
553	世界を変えた書物展、全国発明くふう優秀作品展、山口県科学作品展	330	展示品目録
200	和学、漢学、古典有識に精通した近藤清石の生涯と業績を紹介	90	解説目録(B5版34頁)
558	座敷・山車・西洋・中国からくり、和時計、からくり玩具、実演など	180	解説リーフレット(B5版8頁)
533	山口県内の貝を中心に、外国産、国内産など多数の標本を展示紹介	20,000	記念出版「概説 山口県の貝類」
533	岩崎賀都彰スペースアート、全国発明くふうコンクール優秀作品展、県科学作品展	360	展示品目録
200	近年当館収蔵となった歴史資料のうち、諸家の資料、防長土図を展示	26	資料目録
200	山口地学会から寄贈された県内各地の岩石標本を披露・紹介	300	資料目録
533	江戸時代の図譜から現代の動植物の細密画を展示	180	「ふるさと江戸時代の動植物図」
533	明治初年度欧米に派遣された岩倉使節団の見聞資料を紹介	288	
533	ふるさとのきのこ展、全国発明くふうコンクール優秀作品展、県科学作品展		
	資料調査中 資料調査中 星とオーロラ展、全国発明くふうコンクール優秀作品展、県科学作品展など 資料調査中		
	資料調査中 資料調査中 資料調査中		

高品位な展覧会を楽に企画するノウハウ

現在は、各館と密接に情報交換を行っている。そのため、企画展の資料収集を一から始めることなく、新規に開拓する部分が減り、その分他へ精力が注げるので、よりよい展覧会が企画できるようになった。その幾つかをあげると、

- 1 数館とは、資料の貸借を密接に行っている。(場合によれば常設展示を抜いてでも協力する)
- 2 他館の展覧会のキャプション原稿はもとより、使えるパネル、キャプション、展示資材までも流用できるものなるべく共用する。
- 3 資料調査も新しい発見があった場合、自館のみに止めず、情報を積極的に流す。そのことが、かえって自館への情報が倍増されて還ってくる。
- 4 情報交換を公的機関のみに止めず、企業や私的機関とも積極的に行う。これらは、公的機関にない情報網やノウハウを持っている。
- 5 他館の展示ストーリーのよいところを採り入れ、自館の条件とできる範囲内で展示ストーリーを組み直す。
- 6 博物館は、科学館に比べ、歴史系に重点が置かれているため、展示場には展示ケース、展示台、パネル、衝立等の大道具が揃っているため、それらの大道具をうまく生かした展示を考える。
- 7 総合博物館の特色を生かし、他の分野が協力できる展示ストーリーを組み立てる。
- 8 資料調査は該当展覧会のみならず、幅広く情報収集をする。情報は寝かせておいても、いつか役立つときがある。

山口博物館の企画展への対応と問題点

- 1 前年に調査費が付くため、前前年度に展覧会の担当分野を決めている。
- 2 前年の予算要求時には、ほぼ展覧会の概要を固めている。(前年の11月頃)
- 3 年間3回の展覧会を企画しているが、常設展とは別会場で特別料金を徴収している。
- 4 予算は年によって多少の増減はあるが、約3,500万円程度で、その内の約50%が入館料収入として歳入見込みで予算に組み込まれている。
- 5 そのため、展覧会予算を膨らませるためには、入館料収入の増額を見込まざるを得ず、いかに多くの入館者を

得るかが展覧会の展示資料構成の上に大きなウエイトを占め、これがネックとなっている。

- 6 各分野1名の学芸員のため、展覧会主務者の負担は、かなり厳しいものがある。

巡回企画展情報

市立名古屋科学館では、地元新聞社と組み実行委員会方式の展覧会を毎年実施しておられるが、今後は、科学館をスタートして、各館へ巡回できる形の「巡回企画展」を計画されているようである。

また、科学技術館でも同様な巡回展の計画をお持ちと聞いている。このような計画はスタッフの揃っているところならではの事業であり、スタッフの乏しい館にとって大いに歓迎するものである。

おわりに

最後に希望として、国立科学博物館に願う。かつて、当館でも大変好評を博した「レオナルド・ダ・ビンチ」展のような企画をして地方を巡回していただきたい。ダ・ビンチ展のような企画は、地方公立館では絶対に組めない。国立という立場で、多くの優れた学芸員の英知と、企業の協力を結集されて世界の科学者の業績を紹介する企画展を組み、全国の科学系博物館に巡回してほしいと思う。

自然関係も同様な思いがする。一人の学芸員が県内の自然資料を収集、調査し、企画展にまとめあげるには、あまりにも多くの時間が必要となり、その内容にも限界がある。ただ、自然分野の場合には、資料調査および収集そのものが常設展示の充実という本来の業務になるので、まだその苦労は報われるが、理工の場合は企画展がただちに常設展充実結びつかない場合が多くその苦労が生かされないことが多い様である。もし、可能ならば国立科学博物館で実施される企画展を地方館へ巡回される方法を御検討下さるようお願いする。

特集についてのご意見、お問い合わせは
下記へお願いします。
記

〒753 山口市春日町8-2

山口県立山口博物館

TEL 0839-22-0294 FAX 0839-25-0353

理工担当学芸員 佐伯陽一



消防博物館

〒160 東京都新宿区四谷3-10 TEL 03-3359-9119 FAX 03-3353-9925

昨年の12月3日にオープンした消防博物館は、消防に関する本格的なものとしては、日本初。子どもから大人まで楽しめる「消防ワンダーランド」は、地上10階、地下2階建て、展示スペースは約3,500㎡です。

▼テーマ展別に展示

この博物館では、東京消防庁が長年にわたって、収集保存してきた、古文書、錦絵、装束、機械器具など3,000点近くあるものの中から、約300点を厳選して公開しています。そして展示は、「消防の夜明け」（江戸時代）、「消防の変遷」（明治・大正・昭和の初期）、「現代の消防」「消防自動車の変遷」という4つのテーマに分類されていて、これらのテーマに沿って、歴史の歩みをたどるしくみになっています。

▼人気のコーナーを3つ紹介

① からくりオブジェ

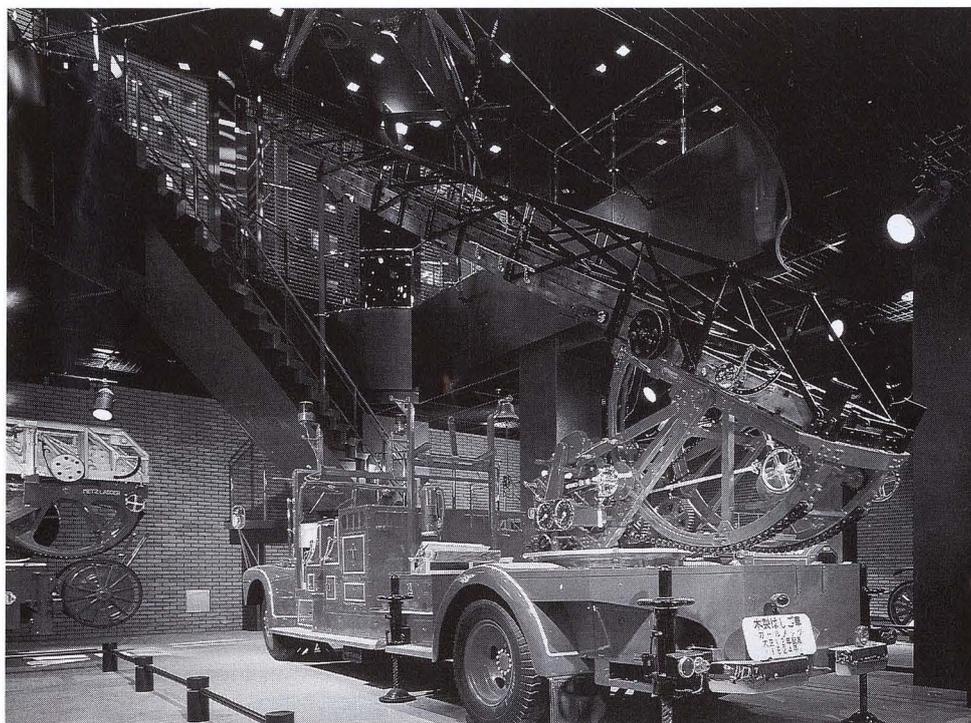
玄関入り口の外では、午前9時から午後7時までの毎正時、東京消防庁音楽隊の人形が音楽を奏でます。

② ヘリコプターに乗れる

建物の外からも見える、5階屋外展示場にある消防ヘリコプターは、アルウェットIII型で、昭和63年まで活躍していたものです。これは操縦席に乗って、機械に触れることができます。

③ ショーステージ

「現代の消防」のコーナーにあるショーステージは消防自動車やロボットの模型が動き出し、アニメとともに消防のしくみを解説します。



大正時代の木製はしご車

開館時間

9:30~17:00

休館日

毎週月曜日

国民の祝日にあたる場合は翌日

12月28日~1月4日

入場無料

〈写真説明〉

地下1階には

消防クラシックカー

5台を展示

新規加盟館園（平成5年6月分）

<正会員>佐川地質館（高知県佐川町）

<維持会員>株式会社アンティー

— 全科協情報 —

「産業技術の歩みと未来を考える交流会議」第1回幹事会

平成5年6月28日(月)、「産業技術の歩みと未来を考える交流会議」第1回幹事会が開催され、全科協はオブザーバーとして出席しました。幹事会では、平成5年度活動計画についてニューズレターの発刊や活動情報のデータベース化の導入等が決定され、幹事メンバー及び参加メンバーで構成する編集委員会、情報システム委員会を設置して具体的に検討することとなりました。

— 全科協北から南から —

○マリニピア松島水族館、新規オープン

マリニピア松島水族館は、園内全体を全天候型に改装し、映像機器を用いる等、ハイテクを駆使した水族館に生まれ変わりました。

マジックミラーとコンピュータを使用した「ワンダービジョン」、「パソコンQ&A」、海の生物が空中に浮んでいるような映像の「テレビジョン」のほか、各種のモニターを使用し、水槽中の生物をより身近に観察できるようなシステムにしました。

また、従来の「電気ウナギの放電表示システム」と「ギャンブルゾーン」もそれぞれハイテクを導入しました。

○岐阜市科学館の「サイエンスガイド」

岐阜市科学館では、身近な材料で簡単に楽しめる工作・実験のガイドとして「サイエンスガイド」シリーズを発行しています。

その中の「親子で楽しめる理科工作・実験集」は“ぶんぶんごま”“ぐにゃぐにゃたこ”“食塩水電池”など、24の工作や実験を紹介しています。いずれも身の回りにある道具を使い、材料も廃物利用を心掛けたものになっています。

シリーズは、現在No.1～No.12まで発行されており、市内の小・中学校および教育関連施設に配布しています。

詳しいお問い合わせは

〒500 岐阜県岐阜市本荘3456-41 岐阜市科学館

TEL 0582-72-1333

加盟館園の企画展・特別展示

○釧路市立博物館

特別展「くしろの野鳥」

会期：平成5年6月1日(火)～27日(日)

さる6月9日から16日まで、北海道釧路市で「ラムサール条約」の第五回締約国会議が開催されました。

条約の正式名称は「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」。アジアでの開催は初めてのことで、自然環境保全に関する連日の報道は記憶に新しいことと思います。

地元の釧路市立博物館では、この会議を期に野鳥へのより一層の理解を深めてもらおうと特別展「くしろの野鳥」を開催しました。

釧路地方で見ることのできる野鳥は200種以上のもなりませんが、この特別展ではそのうちの114種を剥製で紹介・解説した。

また、今年度は以下のような予定で、自然環境保全など環境問題を扱った特別展・企画展が開催されます。

○福岡市立青少年科学文化会館

「地球環境の科学展」(仮称)

会期：平成5年7月21日(水)～8月15日(日)

○沖縄県立博物館

「沖縄の河川と生物」

会期：平成5年8月3日(火)～9月5日(日)

○東金こども科学館

「環境エネルギー展」

会期：平成5年10月9日(土)～10月11日(月)

○国立科学博物館

夏休みに子ども向けのイベント「夏休み・サイエンスクウェア」を開催します。

子どもたちが実際に製作や観察をすることによって、科学への関心を高めてもらおうというこの企画も、今年で3回目を迎えます。

会期：平成5年8月3日(火)～22日(日)

編集後記

7月号の編集は、山口博物館が担当しました。

特集記事以外は、すべて国立科学博物館の事務局より原稿の送付を受けました。

今回は、新潟県立自然科学館の担当です。

ご期待下さい。